

つーながれ

令和6年度 三市合同研修会を開催しました！

令和6年8月6日に、東村山市、東久留米市、清瀬市の小・中学校の通常の学級、特別支援学級、特別支援教室や都立特別支援学校の教員を対象に、「三市合同研修会」を開催いたしました。会場参集とオンラインにて行い、合わせて約150名もの先生方に参加していただきました。



たくさんの方の御参加
ありがとうございました！

第一部では、東久留米市教育委員会 指導課指導主事 佐藤寛氏より、「東久留米市の特別支援教育」というテーマで、東久留米市の特別支援教育の概要や、「子どもたちのために最も適している教育環境を準備する」という理念をもとに就学相談を行われていることなどをご報告いただきました。

第二部では、東京都立大学大学院 教授 伊藤祐子氏より、「特別支援教育の充実に向けて～作業療法士の視点から～」というテーマでご講義いただきました。講義前半では、外部専門家導入に至るまでの歴史的背景や多職種連携の方策についてご説明いただきました。講義後半では、作業療法士の視点から、発達障害に関連する体の動きや体幹の機能、感覚、知覚、認知に関する様々な要因について詳しく御説明していただきました。具体的な教材・教具も御紹介いただきながら、触覚に対する敏感さや発達障害のある子どもたちの特性やそれぞれが抱える困難についてどのような支援ができるのかなどについても詳しくお話しいただきました。

本校教員からは「過敏に対して、排除するというよりはどのような環境や道具を使うことでできるようになるかなどの視点が大切であることを学んだ」、「障害の特性に加えて身体的な部分での課題や感覚的な部分での課題などがあることを知り、困難の背景や原因を考えていく上で考える視野が広がった」等の感想が挙がりました。

今後も本校は特別支援教育のセンター的機能発揮のため、通学区域三市（東村山市、東久留米市、清瀬市）の教育委員会や各校特別支援教育コーディネーターや特別支援学級等と連携し、特別支援教育の推進に努めてまいります。